

科目番号	1 5 0 3	領域区分	看護実践開発学領域		
学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数	
1 ・ 2	前期	選択	2	3 0	
授業科目名 (英文)	看護実践開発特論Ⅲ【広域ケア開発論】 (Clinical Nursing Practice Development Ⅲ : Developing Community Healthcare)				
担当教員名	渡會 睦子／米山 万里枝／ 櫻井 智穂子／砂村 京子／大金 ひろみ				
授業の概要及び到達目標					
授業の概要 エンド・オブ・ライフケア、学校保健、災害看護、コミュニティケア、リプロダクティブ・ヘルスケアなど社会の変化に伴い求められる新たなケア実践に焦点を当て、政策・経済など社会的事象を包摂した観点から、現状の課題ならびに将来的なニーズを分析し、対応可能なケアのあり方を探求する。					
到達目標 ・ 社会状況や集団統計データを読み取り、現状・課題を分析することができる。 ・ 地域特性や社会経済的状況が健康に与える影響を理解し、推測することができる。 ・ 学校保健、産業保健、在宅看護、リプロダクティブ・ヘルスケア、思春期保健、就学と治療の両立支援、就労と治療の両立支援、エンド・オブ・ライフケアの各テーマについて、現状と課題を理解する。 ・ 現状・課題分析に基づき、看護の役割を考え、今後のケアについて討議を行うことができる。					
準 備 学 習 等					
教員ごとに指定する資料・文献を読んでもらうこと(所要時間は各回 1 時間程度である)					
成績評価の方法	各授業内のディスカッションへの貢献 (60%)、およびレポート (40%) で評価を行う。				
テキスト	指定なし (各授業において文献などを指定する)				
参考図書	「厚生労働白書」(厚生労働省) (※) 「東京都保健医療計画」(東京都) (※) 「国民衛生の動向」(厚生労働統計協会) (※)				
備 考	○各教員のオフィスアワーについては看護学科「オフィスアワー」の項を参照ください。 ○各教員に提出する成果物は、授業でディスカッションに利用し、返却しますので、振り返り学修に活用する等してください。				

授 業 計 画

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1. 保健医療に関わる社会状況 | 渡會 |
| 2. 保健医療に関わる地域組織活動の支援 | 渡會 |
| 3. 地域における役割と現職場との連携について | 渡會 |
| 4. 学校保健 | 砂村 |
| 5. リプロダクティブ・ヘルスケア(課題分析): | 米山 |
| 6. リプロダクティブ・ヘルスケア(今後のケアの探求): | 米山 |
| 7. 思春期の健康支援: | 渡會 |
| 8. 就学と治療の両立支援 | ゲスト・渡會 |
| 9. 就学と治療の両立支援(課題分析): | ゲスト・渡會 |
| 10. 在宅看護(課題分析): | 大金 |
| 11. 在宅看護(今後のケアの探求): | 大金 |
| 12. 保健所・保健センター保健師の役割と看護実践: | 渡會 |
| 13. エンド・オブ・ライフケア(課題分析): | 櫻井 |
| 14. エンド・オブ・ライフケア(今後のケアの探求): | 櫻井 |
| 15. まとめ | 渡會 |